

## 全体資料の閲覧方法

「湘南東ブロックし尿処理広域化方針（素案）」の資料全編は、寒川町のホームページからご覧いただけます。ホームページ内で『湘南東ブロック』と検索。

◆ <http://www.town.samukawa.kanagawa.jp>

▶パブリックコメントの二次元コードはこちら



※次の場所で冊子資料を閲覧できます。

- ・役場本庁舎 2階情報コーナー・環境課窓口
- ・シンコースポーツ寒川アリーナ(寒川総合体育館)・北部文化福祉会館
- ・南部文化福祉会館・健康管理センター・寒川町町民センターおよびセンター分室
- ・寒川総合図書館

## ご意見の提出方法について

(提出方法) 閲覧場所で配布する所定の用紙か任意の用紙に記入のうえ、次の方法でご提出ください。

- ①郵 送：右下部記載のお問合せ先までご郵送ください。
- ②FAX：0467-74-1385
- ③メール：kanky@town.samukawa.kanagawa.jp  
▶メール二次元コードはこちら



- ④環境課へ持参
- ⑤閲覧場所の意見募集箱への投函  
(受付時間)：土日祝日を除き、午前8時30分～午後5時15分まで

(宛先)：寒川町 環境経済部 環境課 資源廃棄物担当

(記入事項)  
ご意見・住所・氏名・連絡先  
※住所が町外の方は、勤務先または通学先もご記入ください。  
※団体等の場合は、所在地をご記入ください。

(募集期間)  
令和4年12月7日(水)～  
令和5年1月5日(木)

## いただいたご意見について

お寄せいただいたご意見は、「湘南東ブロックし尿処理広域化方針」の策定において参考にさせていただくとともに、2市1町の考え方と併せてホームページ上で公表いたします。  
個別の回答は致しかねますのでご了承ください。

また、ご意見の提出に際して取得したメールアドレス等の個人情報、本パブリックコメント手続きに限って使用し、「寒川町個人情報保護条例」に従い適正に管理いたします。

## お問合せ先

寒川町 環境経済部 環境課  
資源廃棄物担当

住 所 〒253-0196  
寒川町宮山165番地

電 話 0467-74-1111

FAX 0467-74-1385

「高座」のころ。  
高座郡さむかわ



## 概要版

湘南東ブロックし尿処理広域化方針(素案)  
寒川町自治基本条例に基づくパブリックコメント  
(町民意見の公募)

(意見募集期間)  
令和4年12月7日(水) ～ 令和5年1月5日(木)まで

## <湘南東ブロックとは?>

藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町は、神奈川県循環型社会づくり計画において「湘南東ブロック」として位置づけられています。

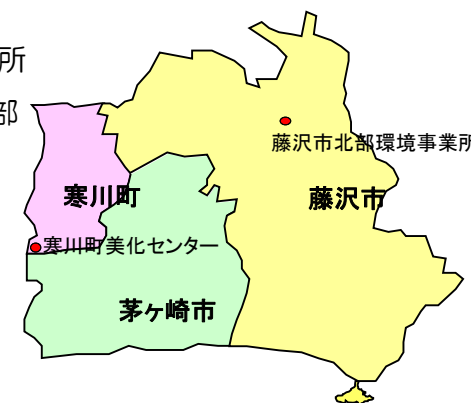
## <湘南東ブロックし尿処理広域化方針策定の経緯及び趣旨>

廃棄物処理においては、担い手の不足、老朽化した施設の維持管理、更新コストの増大から効率性が求められています。湘南東ブロック管内の各し尿処理施設は将来の搬入量予測に対し処理規模に余剰が生じていることや、それぞれ老朽化し延命化等が課題となっています。そのような状況から、令和3年度にし尿・浄化槽汚泥(以下、「し尿等」という)の広域的な処理方法を具体的に調査しました。今回策定した「湘南東ブロックし尿処理広域化方針」は、上記の調査結果を踏まえ将来的な課題を解決することを目的として方向性を示すものです。

については本方針の素案がまとまりましたので、町民の皆さんからのご意見を募集します。

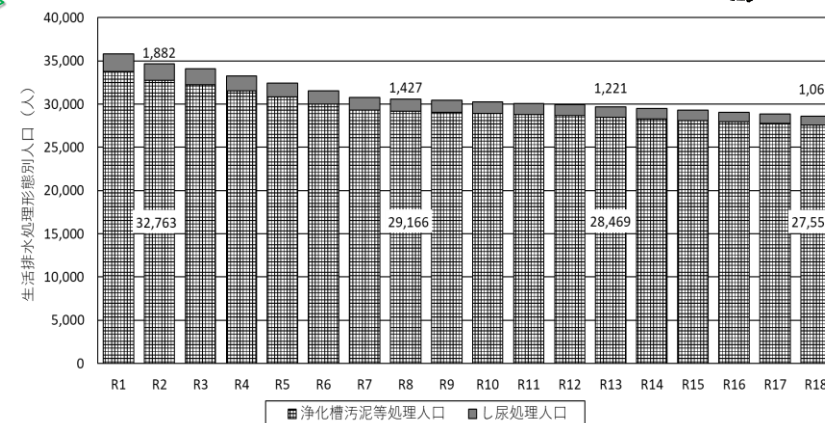
## <し尿処理施設の状況>

湘南東ブロック内のし尿処理施設は、藤沢市北部環境事業所と寒川町美化センターの2ヶ所があり、藤沢市は藤沢市北部環境事業所で、茅ヶ崎市と寒川町は寒川町美化センターで処理を行っています。(各施設の配置図は右図のとおり)  
湘南東ブロック全体のし尿等の搬入量は減少傾向となっています。



## <し尿等排出量の将来予測>

湘南東ブロックにおけるし尿等処理形態別人口の予測値を右に示します。将来的な行政人口減少と下水道普及率向上によりし尿等処理人口は減少することが予測されます。



※本資料は回覧用です。詳細の内容につきましては、Web(最終ページ参照)より全体資料をご覧ください。

＜広域化検討結果まとめ＞ 令和3年度に調査したし尿処理広域化検討結果を次に示します。

		1施設体制		2施設体制					
経済性	①計画段階	メリット	計画や発注支援業務を2市1町で費用負担するため、各自治体の財政支出を抑制できる。		現在の事務分担の範囲で対応が可能。				
		デメリット	事務分担の調整が必要。		2施設分の業務が必要となるため、湘南東ブロック全体の事業費は1施設体制と比較し高くなるため、各自治体の負担額も大きくなる。				
	②設計・建設段階		スケールメリットを活かした事業費の削減が期待できる。		施設の規模が小さくなることで建設単価は高くなり、湘南東ブロック全体の事業費は1施設体制と比較して高くなる。				
	③運営・維持管理段階		人員配置、薬剤使用量等が2施設体制と比較して効率的なため、事業費の削減が期待できる。		各施設への人員配置、備蓄品の用意など、1施設体制と比較すると非効率となり、事業費は高くなる。				
総事業費(②+③)		4,824百万円/15年		7,393百万円/15年					
環境性	処理に伴うCO <sub>2</sub> 排出量	263t-CO <sub>2</sub> /年	処理に伴うCO <sub>2</sub> 排出量は2施設体制よりも少ない。		327t-CO <sub>2</sub> /年(2施設合計)				
		※主に電力使用に伴うCO <sub>2</sub> 排出であるため、廃棄物発電電力や再生可能エネルギー由来の電力を使用すると、処理体制による差はほとんどなくなる。		2施設になることで機器点数は増え、電力使用量の増加等によって処理に伴うCO <sub>2</sub> 排出量は1施設体制と比較して多くなる。					
処理の安定性		施設停止時にブロック全体の処理量を周辺施設で受け入れてもらう必要がある。		1施設体制と比較すると、各施設の受け入れ可能な範囲で、一定量はブロック内での相互支援が可能となり、ブロック外で受け入れてもらう量が少ない。					
		「神奈川県湘南地域県政総合センター管内5市3町1一部事務組合間に於ける一般廃棄物の処理に係る相互援助協定書」を平成28年12月に締結しており、協定市町等のごみ処理施設及びし尿処理施設において、「不測の事故および故障」、「一時的な処理能力の低下」、「災害」があった場合において処理施設の相互利用並びに資機材及び職員等の相互援助体制を構築しており、いずれの処理体制においても一定のバックアップ体制が図られている。 ※5市3町1一部事務組合の施設だけでは対応できないことも想定されるため、他の自治体や民間事業者等と連携し、より広域的な相互支援体制の確保も検討が必要である。 ※災害時においては、仮設で排水を処理することなどの検討も必要である。							
事業用地	藤沢市北部環境事業所		寒川町美化センター		藤沢市北部環境事業所	寒川町美化センター			
用地面積	○既存施設の解体・撤去が必要。 ○解体・撤去するエリアを使用すれば配置可能である(焼却施設の改良工事との調整が必要となる)。		既存施設の運転を継続しながら問題なく配置可能(一部、既存設備(あずま屋、浸透井戸)の撤去・移設が必要となる)。		○既存施設の解体・撤去が必要。 ○解体・撤去するエリアを使用すれば配置可能である(焼却施設の改良工事との調整が必要となる)。				
収集運搬体制	2施設体制を維持した場合よりわずかに輸送効率はやや劣るが、影響はわずかである。		発生量の多い藤沢地域からの輸送距離が伸びるため、藤沢市北部環境事業所に整備するよりも効率は低下する。		現在の体制からの変更はない。				
	収集運搬経費	約2,804百万円/15年		約3,036百万円/15年		2,799百万円/15年			
	CO <sub>2</sub> 排出量	64.3t-CO <sub>2</sub> /年		91.2t-CO <sub>2</sub> /年		58.6t-CO <sub>2</sub> /年			
	中継基地	中継基地を設けることで、施設整備費、施設の運営・維持管理費、輸送距離の増加に伴う運搬費が増えるため、湘南東ブロックにおいては、中継基地を設置するメリットはない。							
災害リスク(浸水)	災害リスクは低い。		想定浸水域にあるため、洪水等による災害リスクへの備えが必要である。		災害リスクは低い。		想定浸水域にあるため、洪水等による災害リスクへの備えが必要である。		
その他	放流量	現在の放流量よりも増加するため、下水道施設との調整が必要になる可能性がある。		現在の放流量よりも増加するため、下水道施設との調整が必要になる可能性がある。		処理方式によって、現在の放流量よりも増加するため、場合によっては下水道施設との調整が必要になる可能性がある。		処理方式によって、現在の放流量よりも増加するため、場合によっては下水道施設との調整が必要になる可能性がある。	
	下水道料金	約321百万円/15年		約218百万円/15年		約198百万円/15年		約78百万円/15年	
総合評価(順位)	1(◎)	○既存施設の解体撤去を行えば配置可能である。 ○収集運搬効率の面で優位であり、災害リスクが低いこと、災害時の処理の継続性・安定性の面でも優れている。		2(○)	○現状の敷地で配置可能である。 ○浸水リスクがあるため、盛土等の追加対策が必要になると、建設費も増加する。 ○藤沢市より下水道料金が安価な分、維持管理費は低減できるが、収集運搬の面を含めると経済面での優位性はなくなる。		3(△)	既存施設の解体撤去を行えば配置可能である。	
	2施設体制と比較すると、事業全体を通じた経済性、環境性で優位であり、1施設への集約化を選択することが望ましい。				1施設体制と比較すると、2施設体制は経済面で劣るため、下水放流量や収集運搬事業者との調整等の要因で集約化が難しい場合の選択肢となる。				

＜し尿処理広域化方針＞ 藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町は、し尿処理施設を集約化することにより効率化を図り、し尿処理の広域化を目指します。

(1) 処理方式

環境省の交付金対象となり、経済性が有利となる「前脱水+汚泥助燃剤化+希釈放流」方式とし、施設設計時に再度、経済性、最新技術による高度な処理施設を選定します。

(2) 施設体制

建設及び維持管理において経済的に有利となる1施設体制とします。

(3) 施設設置場所

洪水によるし尿処理施設への浸水等災害リスク等を考慮し、安全性及び事業費全体として経済的に有利となる藤沢市北部環境事業所を所在地とします。

(4) 供用開始目標年度

令和14年度を目標に供用開始します。